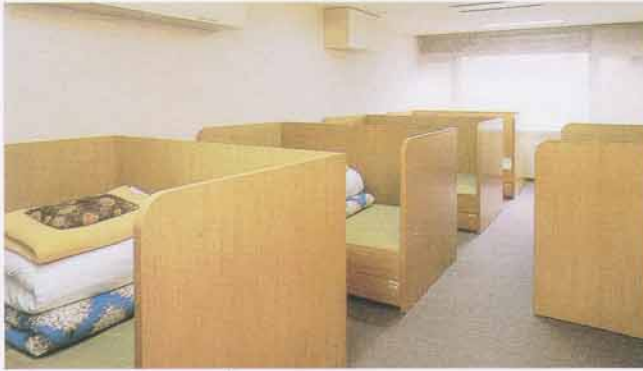


あき子さんのノートから

- 火事の大きさや場所を市内の全部の消防しょと分しょ、消防団、けいさつしょに、専用の電話や無線でれんらくします。
- 水道局、ガス会社、道路公団、電力会社などにもれんらくしてひ害が大きくなるように、協力をよびかけます。



消防士のねとまりする部屋



なるほどこんなふうになつていたのか。これなら安心だね。

消防しょのおじさんの話



火事にそなえて、こんなこともしています。

- いつでも、出動できるようにじゅんびしています。とくに、夜間は、「かみん室」で休みながら、火事にそなえています。
- レスキュー隊があり、毎日きびしい訓練をくり返しています。
- 消防自動車などの手入れや点検を毎日しています。



レスキュー隊の救助くんれん



文化財(開成館)の消火くんれん